

NEWS RELEASE

POLA MUSEUM ANNEX

2013年6月19日

「香り」の持つ詩的な感覚を体感 「plaplax 『ハナハナのハナ -香りのカタチ-』 展」 2013年7月5日(金)から開催

ポーラ ミュージアム アネックス(東京・中央区銀座)では、コンピュータや映像と様々な素材を組み合わせユニークな作品を発表しているアートユニット plaplax(プラプラックス)の展覧会「ハナハナのハナ -香りのカタチ-」を2013年7月5日(金)から8月4日(日)まで開催します。

plaplax は近森基、久納鏡子、笈康明、小原藍から構成されるアートユニットで、主に作品と鑑賞者の動きなどを連動させるインタラクティブ(双方向)アートの制作を行っています。

近年では、作品制作で培った技術やセンスを活かし、公共空間、商業スペースやイベント等での空間演出や装置・コンテンツ制作、プロダクトデザイン、大学や企業との共同技術開発など幅広く活動しています。

今回展示する作品「hanahanahana」は、取り付けられたセンサーが香りの種類やその強さ、時間の経過を感知し、それに合わせて壁面に投影された色とりどりの花が変化します。「香り」という本来ならば目には見えない存在を視覚化した作品で、嗅覚だけではなく、それ以外の感覚も使って「香り」をとらえるという試みです。

作品によって再構成された「香り」が、どのように変化し、もともと「香り」として持っている詩的な情感が変わらず生み出されるのか会場で体感していただけます。

会期中、オリジナルの香水が作れる講座などを開催予定です。詳しくはギャラリーHP (<http://www.po-holdings.co.jp/m-annex/>)のイベント情報でご案内します。



「hanahanahana」2009 ※香りのついた紙を近づけるとセンサーが反応して壁に様々な花が投影されます。

【リリースに関するお問い合わせ】

株式会社ポーラ・オルビス ホールディングス 広報・IR室

【読者からのお問い合わせ先】 ポーラ ミュージアム アネックス

TEL 03-3563-5540 / FAX 03-3563-5543

TEL 03-3563-5501

|| 展覧会概要 ||

展覧会名：ハナハナのハナ -香りのカタチ-

会 期：2013年7月5日(金)～ 8月4日(日) ※会期中無休

会 場：ポーラ ミュージアム アネックス

〒104-0061 中央区銀座1-7-7 ポーラ銀座ビル 3階

アクセス：東京メトロ 銀座一丁目駅 7 番出口すぐ

東京メトロ 銀座駅 A9 番出口から徒歩6 分

JR 有楽町駅 京橋口改札口徒歩5 分

主 催：株式会社ポーラ・オルビス ホールディングス

開館時間：11:00 - 20:00 (入場は19:30 まで)

入 場 料：無料

|| プロフィール ||

plaplax(プラプラックス)



近森基、久納鏡子、笈康明、小原藍から構成されるアートユニット。2002年頃よりコラボレーションを開始。主にインタラクティブアート分野における作品制作を手がける一方、公共空間、商業スペースやイベント等での空間演出や展示造形、大学や企業との共同技術開発など、幅広く活躍している。Ars Electronica(オーストリア)、SIGGRAPH(アメリカ)、ポンピドゥセンター(フランス)、文化庁メディア芸術祭(日本)など、国内外で数多く作品を発表。

<http://www.plaplax.com/>



「hanahanahana」 2006



「Protoflora」 2012